

かわまちづくり事例紹介

1. 早明浦ダム周辺地区かわまちづくり

高知県本山町、土佐町、大川村

出典：吉野川ダム統合管理事務所 HP

2. 波川地区かわまちづくり

高知県いの町

出典：高知河川国道事務所 HP

3. 令和 3, 4 年度かわまち大賞

令和 3 年度大賞 閑上地区かわまちづくり

大阪市かわまちづくり

令和 4 年度大賞 盛岡地区かわまちづくり

石巻地区かわまちづくり

出典：国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 HP

対象河川：一級河川 よしのがわ 吉野川水系 よしのがわ 吉野川【国管理河川】
 市町村名：もとやまちょう とさちょう おおかわむら 高知県本山町、土佐町、大川村
 推進主体：もとやまちょう とさちょう おおかわむら 高知県本山町、土佐町、大川村



1. 概要

早明浦ダム周辺地域に位置する本山町、土佐町、大川村における振興計画では、さめうら湖や吉野川等の水辺を活用、拠点化することによる観光振興、地域間交流、地域活性化等を重要な施策として位置づけ、様々な取組が行われています。

この取組みを充実させるため、本計画では、湖、川、村、森、道の5つの駅を拠点とした早明浦ダム周辺地域をつなぐかわまちづくりをコンセプトに、ダム周辺の豊かな自然資源を有効活用し、水源地域と受益地域の交流促進に資する水辺整備を2町1村と連携して実施し、地域全体の活性化に取り組んでいきます

国土交通省では、この取組に対し、必要な河川管理施設を整備するほか、河川空間において営利活動を実施する場合には、河川敷地占用許可準則22条に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。

2. ハード施策の内容

国土交通省：湖岸施設(管理道・階段)の整備
 高水敷整備、親水護岸整備、スロープ整備 等
 本山町：帰全山公園の再整備、スロープ整備 等
 土佐町：修景植栽、森林公園の再整備 等
 大川村：修景植栽、眺望テラス整備 等

3. ソフト施策の内容

国土交通省：情報誌を活用した河川利用者への情報発信 等
 本山町：カヌー練習場として合宿等の誘致 等
 土佐町：SUP・カヌー体験などのアクティビティ運営 等
 大川村：白滝の里と連携した山・湖イベントの開催 等

※今後、工事实施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

「早明浦ダム周辺地区かわまちづくり」の基本方針

- ① 3町村に点在する活動・情報拠点区間 (= 5つの駅) を強化
- ② ダム周辺の自然資源とアクティビティのネットワーク化



※「かわまちづくり」・・・河川空間とまちの空間の融合が図られた、良好な空間形成を目指す取り組みです。



自然王国 白滝の里

大川村

- 5つの駅をつなぐサイクリングコースの設定
- 他の駅等と連携したイベントの開催



道の駅 土佐さめうら

土佐町

- 5つの駅をつなぐサイクリングコースの設定
- 他の駅等と連携したイベントの開催



大川村役場～ 村のえき（結いの里）周辺

大川村

- 観光遊覧、ワカサギ釣りクルーズ等の運営
- 5つの駅をつなぐサイクリングコースの設定
- 他の駅等と連携したイベントの開催

【施設の整備】

- スロープの改良、階段の延伸〔国交省〕
- 修景植栽、展望テラスの整備〔大川村〕



さめうら レイクタウン周辺

土佐町

- 民間活力による拠点施設の運営、カヌー等のアクティビティ運営
- 5つの駅をつなぐサイクリングコースの設定
- 他の駅等と連携したイベントの開催

【施設の整備】

- 湖岸施設（遊歩道・階段）の整備、延伸〔国交省〕
- さめうら森林公園の再整備、修景植栽〔土佐町〕



帰全山公園・モンバル アウトドアヴィレッジ本山周辺 ふれあい公園周辺

本山町

土佐町・本山町

<帰全山公園付近>

- 民間活力による飲食・物販・アクティビティ運営
- 5つの駅をつなぐサイクリングコースの設定
- 他の駅等と連携したイベントの開催

【施設の整備】

- 帰全山公園の再整備〔本山町〕
- 水辺へのスロープ整備〔本山町〕



<ふれあい公園>

- やまびこカーニバル等イベントの継続開催
- 5つの駅をつなぐサイクリングコースの設定
- 他の駅等と連携したイベントの開催

【施設の整備】

- 高水敷保護工兼イベント時駐車場の整備〔国交省〕
- 船着き場となる親水護岸の整備〔国交省〕

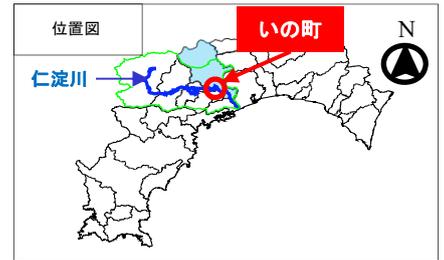


さめうらかわまち MAP

5つの駅 を起点として早明浦ダム周辺の魅力UP!!

「波川地区かわまちづくり」(高知県のいの町)

対象河川：一級河川 仁淀川水系仁淀川 【国管理河川】
 市町村名：高知県のいの町
 推進主体：いの町



1. 概要

いの町には、「仁淀ブルー」で全国的に有名になった「奇跡の清流 仁淀川」が流れ、キャンプ場やカヌーなどの様々な水辺の観光資源があります。また、土佐和紙発祥の地でもあり、「いの町紙の博物館」・「土佐和紙工芸村」などの観光施設や土佐和紙で作られた鯉のぼりを清流仁淀川で泳がすなどのイベントも行われています。また令和3年12月に全線開通した高知西バイパスなどの交通結節点をつなぐ動線の確保とそれに伴う水辺利用の向上に取り組むことで、賑わい創出を図り、観光拠点の中心となるまちづくりを目指しています。

この取り組みを充実させるため、本計画では、憩いの場所や駐車場などを整備し、集客数向上を推進します。また、「MIZBERING NIYODOGAWA INOTOWN」や上下流域にある観光施設と連携し、地域住民の参画を促し、水辺の多様な利用による賑わい創出にも取り組んでいきます。

国土交通省では、この取組に対し、必要な河川管理施設を整備するほか、河川空間において営業活動を実施する場合には、河川敷地占用許可準則22条に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。

2. ハード施策の内容

国土交通省：親水(階段)護岸整備・車両回転場整備 等
 いの町：河川敷駐車場整備、樹木伐採(間伐)、木漏れ日公園整備 等

3. ソフト施策の内容

国土交通省：都市・地域再生等利用区域の指定 等 いの町：河川空間の民間開放に向けた連携

整備イメージ



※今後、工事实施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。



ゆりあげちく

閑上地区かわまちづくり

【題名】名取川とともに復興し、新たな賑わいを生み出したまち 閑上
 【河川】名取川水系・名取川（一級河川）



かわまちづくりの特長

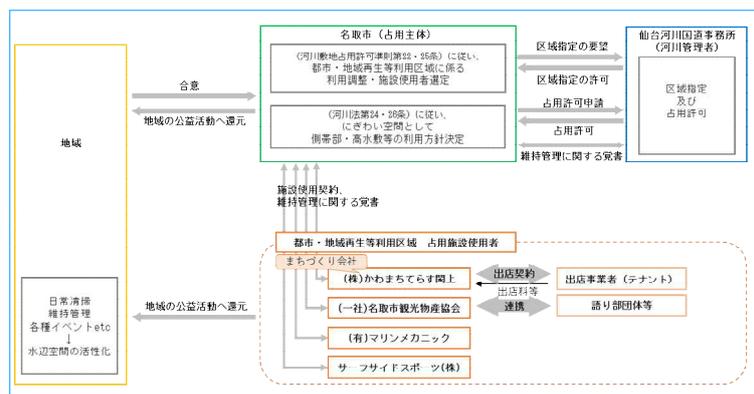
- ・閑上地区は、河川堤防と同じ高さに整備した側帯上に、被災事業者が中心となって設立したまちづくり会社が商業施設を建設・運営しており、地域の賑わいの拠点となっている。
- ・まちづくり会社が主体となり、定期的にイベントを開催するとともに、行政以外にも様々な関係主体が関わって情報を共有し、WEBやSNS等で情報を発信している。
- ・都市・地域再生等利用区域を指定し、商業施設とともに、舟運事業、河川防災ステーションや震災復興伝承事業館の整備等を実施し、官民連携で賑わい創出・防災性向上に取り組む。

評価のポイント

- ・閑上地区は、震災で甚大な被害を受けたが、かわまちづくりの取組などにより居住人口が増え、商業施設の整備・運営により主体性を持って地域を盛り上げようとしている点は高く評価できる。また、社会実験中の舟運事業が定着すれば、新たな観光事業の一つの機運になる。
- ・河川とまち・運河・港が連携し、復興事業の中で拠点整備と河川整備を上手く組み合わせさせた点は高く評価できる。また、この地区を地域の拠点として育てて行こうという発想は災害復興・継承の観点から高く評価できる。

体制

・推進主体：名取市水辺を活かしたまちづくり検討会



効果

来客数の推移(人)



「かわまちてらす閑上」の来客者数の推移

問合せ先：名取市商工観光課

TEL: 022-724-7149 E-Mail: syousui@city.natori.miyagi.jp



おおさかし

大阪市かわまちづくり

【題名】「水の都・大阪」における道頓堀川の水辺整備と水辺空間利活用の制度要望、公民連携の多様な賑わいづくりによる、かわとまちが一体となった魅力的な水辺空間の創出

【河川】淀川水系・道頓堀川（一級河川）



かわまちづくりの特長

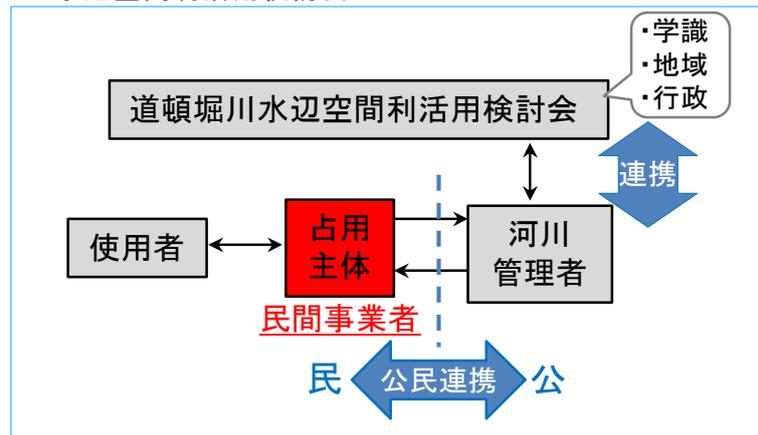
- 行政間の連携だけでなく、民間等による沿川地域の開発と連携した一体的な水辺遊歩道や橋梁、船着場等を整備することで個性的な水辺空間を創造している。
- 都市・地域再生等利用区域の指定により、公募で選定した民間事業者が包括的に占有しており、賑わい創出のために民間企業のネットワークや情報発信手法を駆使して、多様なイベント等を実施している。
- 学識・沿川地元代表者・行政からなる検討会において、地域住民や各種団体等の意見聴取を行い合意形成を図りながら、活動を行っている。

評価のポイント

- 道頓堀川は、全国に先駆けて先進的な規制緩和のスキームを使い、遊歩道を作って人の流れを変えたり、水辺空間や周辺の建築物を甦らせたり、舟運を実施してまちの中の水辺の価値向上を図ってきた。その活動実績は高く評価できる。
- 乗船している人と橋の上にいる人が互いに手を振り合うフレンドリーな光景や、川沿いのお店の雰囲気や看板・垂れ幕など、大阪らしい賑やかな雰囲気の醸成に貢献しており、高く評価できる。

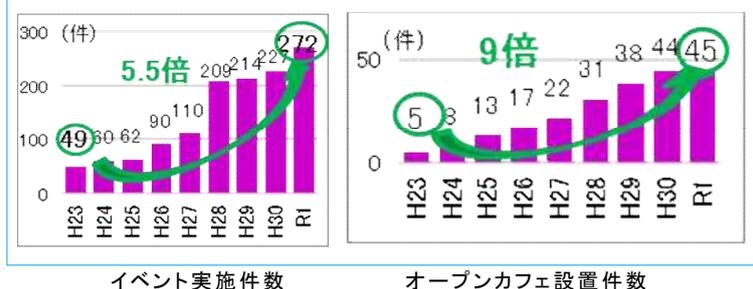
体制

- 推進主体：大阪市、南海電気鉄道株式会社、道頓堀川水辺空間利活用検討会



管理運営体制図

効果



問合せ先：大阪市建設局企画部河川課

TEL：06-6615-6839 E-Mail：la0028@city.osaka.lg.jp



もりおかちく

盛岡地区かわまちづくり

【題名】 住民参加の「かわ」の活用 ～観光客数も着実に増加～
 【河川】 北上川水系・北上川・中津川（一級河川）



かわまちづくりの概要

- 中心市街地の活性化が急務となっている中で、市内中心部を流れ、歴史的に市民に親しまれており、良好な観光資源でもある北上川、中津川の河川空間を活用することで、まちなかの賑わい創出や伝統的な行事など観光振興に繋げる多くの取組を市民、地域団体、民間、国、市が連携し実施している。
- 河川空間の整備にあたり、地元や民間事業者等の「まちづくりの視点」を取り入れ利用者の意見を反映することにより、コロナ禍においても「水際の居場所」としての開放的な空間が確保され、多くの市民に親しまれている。
- 北上川に新しい船着場を活用した舟運の本格運航に向けて「かわ」と「まち」を結んだ新たな取組をしている。

評価のポイント

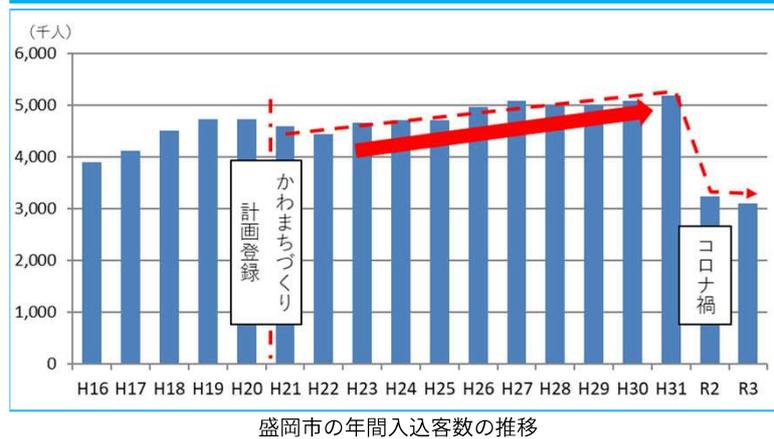
- 北上川沿いの木伏緑地においては、東北地方初となる民間資金を活用した公園整備（Park-PFI）と併せ、河川空間を一体的に再整備することで、「かわ」と「まち」との一体的な賑わいを創出できており、まちなかへの波及効果が出ていると評価できる。
- 木伏緑地運営者や中津川でのミズベリング検討会など、活動主体が新たに広がり、地域住民や民間事業者等による組織の活動が継続的に発展していると評価できる。

体制

- 推進主体：盛岡地区かわまちづくり懇談会



効果



問合せ先：盛岡市都市整備部公園みどり課

TEL：019-651-4111 E-Mail：kouen@city.morioka.iwate.jp



いしのまき ちく

石巻地区かわまちづくり

【題名】かわと共に発展する石巻市のまちづくり
 【河川】北上川水系・旧北上川（一級河川）



かわまちづくりの概要

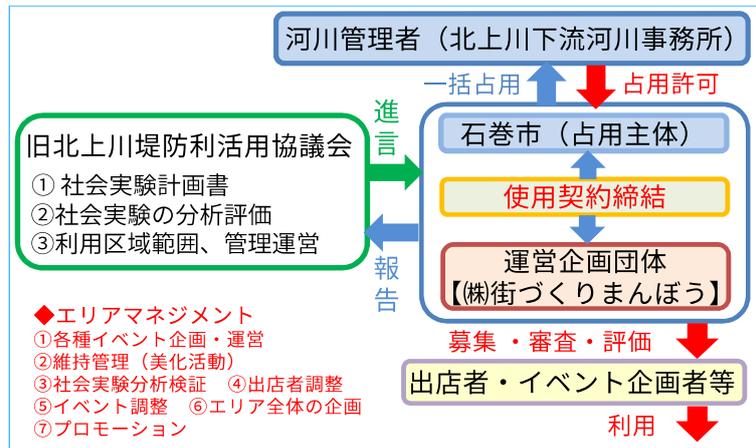
- 東日本大震災後の復興まちづくりとして無堤部区間への堤防整備とあわせてかわまちづくりを実施し、市街地に隣接する区間では堤防天端を拡幅し、愛称「かわまちオープンパーク」として定期的にイベントを開催し、堤防上にキッチンカーが出店する等、新たな観光・交流拠点の場となっている。
- 堤防に隣接する「いしのまき元気いちば」は、堤防背面に盛土と直立擁壁を設置することで、最大17m幅の「堤防一体空間」を創出しており、堤防から隣接する商業施設の2階部分に直接出入りできる。

評価のポイント

- 震災直前に策定したかわまちづくり構想を継承し、河川堤防上の利活用に配慮した整備のほか、様々な関係主体がかわまちづくりのプロセスに参画しているなど、かわとまちをつなげた賑わい・憩いの水辺づくりは高く評価できる。また、施設の構造的に優れたデザインの高さ、石や素材の選び方など、細部にまで様々な工夫が施されていると評価できる。
- 元気いちばは観光客だけでなく、市民にも日常的に利用されており、背後の復興公営住宅や民営住宅の整備と併せて河川空間が整備されたことで、まちへの波及効果も大きい。かわまちづくりの取組が復興まちづくりに大きく寄与していると評価できる。

体制

- 推進主体：旧北上川河口かわまちづくり検討会、旧北上川堤防利活用協議会、旧北上川水面利用者協議会



管理運営体制図

効果



石巻市全体観光客入込数推移

問合せ先：石巻市河川港湾高規格道路整備推進課

TEL：0225-95-1111

E-Mail：ishwpromo@city.ishinomaki.lg.jp